

取扱説明書

エアーキャリー

ATC-99L ITEM No.881021
ATC-150L ITEM No.881022



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 使用目的

本製品は、普通乗用車・軽自動車・自動二輪車及び原動機付自転車（一部、タイヤバルブの形状により使用不可）のタイヤ空気圧調整用の可搬式エアインフレーターです。

- ・ タンク内にエアを充填し、本体をタイヤまで持ち運んで作業できます。
- ・ 簡単な操作で、誰にでもタイヤの圧力調整が行えます。
- ・ タンクへのエア充填は、付属のスタンドにセットするだけで自動的に補充されます。
- ・ 設置の為の特別な工事は不要です。
- ・ 窒素ガスの補充用としても使用できます。
- ・ タイヤチャックは、オープンエンドタイプ以外は使用できません。

（オープンエンドタイプとは、タイヤからタイヤチャックを切り離してもエアが通じるバルブタイプをいう。

参考 反対用語：クローズドエンドタイプ：タイヤチャックを切り離すとエアが通じないバルブタイプ）

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性がありますを示しています。



注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、及び物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

注意



- 本製品は、タイヤのエア充填機器です。他の用途には絶対に使用しないでください。



- 本製品は、簡易的な測定機器でもあります。乱暴に扱ったりぶつけたりしないでください。衝撃により正しいエア圧測定が行えなくなる場合があります。



- 本製品を乱暴に扱って破損させることのないように、十分注意して取扱ってください。万一、タンクを破損させますと、タンク内の圧縮エアの吹出しや構成部品その他の飛散によって、思わぬケガにつながるなど、大変危険です。

注意



- 夜間・休日など、長時間使用しない場合は、スタンド部のエアチャックを外し、エアの供給を止めてください。



- スタンドに供給するエアは、必ず 1000kPa 未満のエアを供給してください。ご使用のコンプレッサーが 1000kPa(1MPa)以上の圧力を発生するもの場合には、必ずエアレギュレーターを設置し、1000kPa 未満に減圧して供給してください。スタンドへの供給エア圧力が 990kPa を超えると、安全弁が開き排気を行います。エアの浪費につながるほか、排気音が常時するので故障と間違えられることがあります。



- タイヤチャックは付属の指定品をご使用ください。クローズドエンドタイプに取替えられますとタイヤ圧力計を破損する恐れがあります。

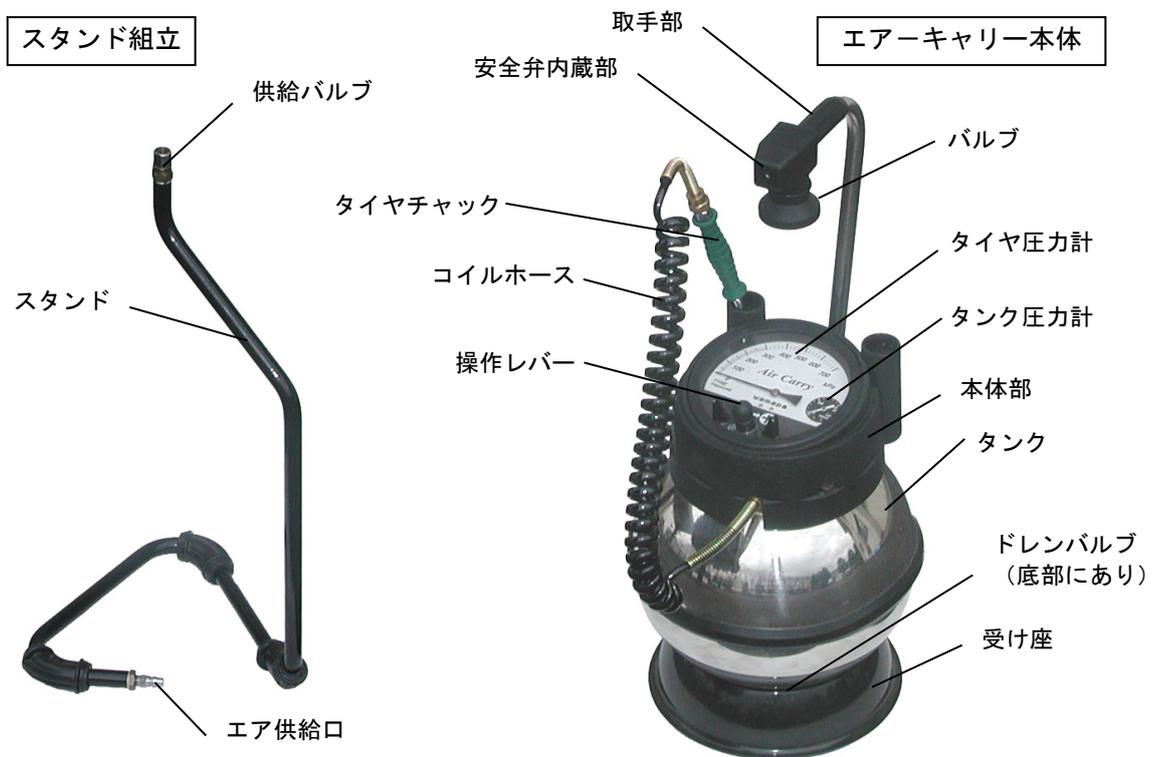
★本製品は、タイヤ空気圧の補充を目的とした機器ですので、タイヤ交換した時のゼロ気圧からの充填には時間がかかります。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部名称	1
1.2 梱包内容	1
2. 使用前の準備	2
3. 使用方法	3
4. 保守・点検	
4.1 保守	4
4.2 故障の点検とその対策	4
4.3 消耗品と推奨交換時期（参考）	4
5. 分解・組立	
5.1 本体の分解と組立方法	5
6. 部品分解図・パーツリスト	6
7. 仕様	8
8. 製品保証登録シート	9
9. 保証規定	10

1. 各部の名称

1.1 各部名称



1.2 梱包内容

本製品は、エアーキャリー本体とスタンド組立とがダンボール箱に同時梱包されています。
開梱後、直ちに輸送中の損傷がないか及び付属品の欠品がないか確認してください。
また、締結部及び配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増締めを行ってください。
なお、スタンド組立の上部（供給バルブ付近）には、輸送時の保護として保護材が取付られています。
製品使用时には不要ですので、取外してください。

2. 使用前の準備

- 1) スタンドを通常作業の邪魔にならない平坦な場所を選んで設置してください。(Fig.1)

<NOTE>

・傾斜のある所に設置すると、スタンドにエアーキャリー本体を乗せたとき、接続部からエアが漏れたり、本体が倒れたりすることがあります。

- 2) 500kPa~1000kPa 未満のエアをスタンド部のエア供給口に接続してください。(Fig.1)
(エア供給口へのカップラー接続には、PS タイプのエアチャックを別途ご用意してください。)



⚠ 注意



- 安全のため、安全弁は、990kPa に工場調整されて出荷されています。安全弁は絶対にいじらないでください。



- ご使用のコンプレッサーが 1000kPa(1MPa)以上の圧力を発生するもの場合には、必ずエアレギュレーターを設置して、1000kPa 未満に減圧して供給してください。

安全弁を 990kPa に設定している為、タンク内の圧力がこれ以上になると安全弁が開き自動的に排気します。排気音が常時するのでエアの浪費につながるほか、故障と間違えられることがあります。(Fig.2)



- 3) スタンドにエアーキャリー本体をセットしてください。(Fig.3)

タンク内にエアが充填され、ATC-99L の場合は約 1 分程度で満杯になり、エアの充填は自動的に停止します。

<NOTE>

- ・エアーキャリー本体のメーター面にタンク内の空気圧が表示されます。(Fig.3)
- ・タンク内の圧力以上のタイヤに充気することはできません。

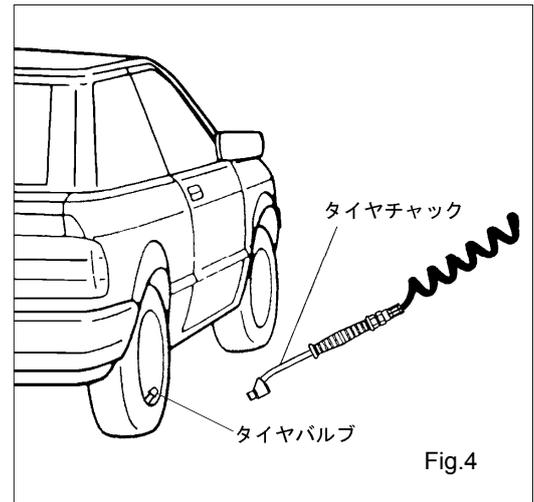


3. 使用方法

- 1) エアーキャリー本体をスタンドから取外し、充填する車の所まで持運びます。
- 2) タイヤチャックをタイヤバルブに対してまっすぐ確実に押当ててください。(Fig.4)
このときメーターの指針は、この時点でのタイヤの空気圧を示しています。

<NOTE>

- ・自動二輪車や原動機付自転車の場合、タイヤバルブの形状によっては本製品のタイヤチャックでは使用できない場合があります。



⚠ 注意



- メーター内の自動車と二輪車イラストの示す圧力範囲は、あくまでも目安です。自動車(タイヤ)などで指定されたタイヤ空気圧を確認してからタイヤの空気圧を調整してください。空気圧に過不足があると、タイヤの損傷や事故につながる恐れがあります。

- 3) メーターの指針が、希望のタイヤ空気圧と合致していれば、空気圧調整の必要はありません。
- 4) メーターの指針が希望の空気圧でない場合は、次の要領にて調整を行ってください。(Fig.5)
 - ・空気圧が不足のとき ⇒ +側にレバーを倒して充気してください。
 - ・空気圧が過剰のとき ⇒ -側にレバーを倒して減圧してください。

<NOTE>

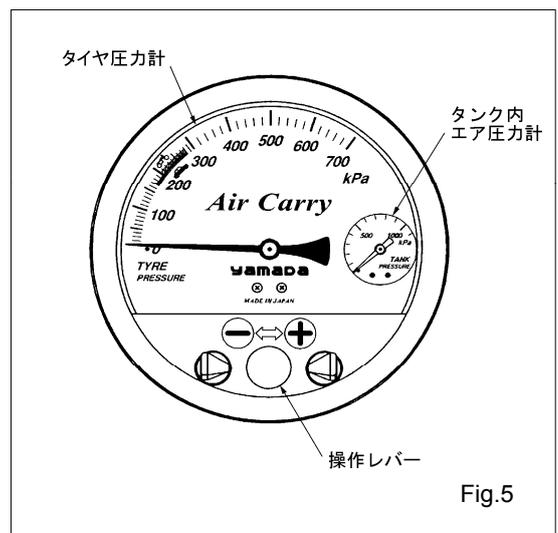
- ・操作レバーを少し倒すことでタイヤの空気圧の微調整ができますが、充気中や減圧中は、メーターの指針が振れますので正確なタイヤ空気圧ではありません。レバーから手を離れた(中立)ときが正確なタイヤ空気圧です。

- 5) タイヤへの充填中に充填速度が遅くなった場合、タンク内のエア圧力計を確認してください。タンク内の空気圧力が不足しているときは、再度スタンドにエアーキャリーをセットしてタンク内にエアを補充してください。

<NOTE>

- ・タンクの圧力が900kPaの状態、155R13のタイヤを180kPaから200kPaに上げる場合、約7本分程度の充気が行えます。(ATC-99Lの場合)

- 6) 使用後は、エアーキャリー本体を元通りにスタンドにセットし、常にタンク充填の状態にしておいてください。
- 7) 夜間・休日など、長時間使用しないときには、スタンドのエアーチャックを切離し、エアの供給を止めてください。



4. 保守・点検

4.1 保守

- ・定期的にドレンバルブを緩め、タンク内に溜まったドレンを抜いてください。終了後は必ず確実に締めてください。(Fig.6)

 注意	
	- 本製品は、測定機器ですので乱暴な取扱いは行わないでください。衝撃により正しい空気圧の測定が行えなくなる場合があります。
	- ドレンバルブを緩める際には、よく注意しながらゆっくり緩め、3回転以上緩めないでください。ドレンやエアが一気に吹出したり、ドレンバルブが内圧で飛んだりするとケガをする恐れがあります。



- ・使用中、異常などがございましたらすぐに使用を中止し、「4.2 故障の点検とその対策」の項を参考に点検整備または修理を依頼してください。

4.2 故障の点検とその対策

状 況	原 因	対 策
タイヤチャックをセットしてもタイヤ圧力計の針が動かない	・ホース及び接続部の漏れや外れ ・メーターの故障	⇒交換 ⇒修理を依頼してください。※
タイヤチャックをセットし、+側にレバーを倒してもタイヤ空気圧が増加しない	・タンク内のエア不足 ・バルブの故障	⇒スタンドにセットし、補充する ⇒修理を依頼してください。※
タイヤチャックをセットし、-側にレバーを倒してもタイヤ空気圧が減少しない	・バルブの故障	⇒修理を依頼してください。※
タンク内にエアが溜まらない	・エアが接続されていない ・タンクのドレンバルブの緩み ・スタンドのバルブの故障	⇒配管を確認 ⇒ドレンバルブの点検 ⇒修理を依頼してください。※
スタンドとキャリア本体の接続部からエアが漏れる	・スタンドが傾いて設置されている ・バルブ内部部品の摩耗	⇒平らな場所に設置する ⇒修理を依頼してください。※

※お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

4.3 消耗品と推奨交換時期（参考）

804329 バルブ組立内				853743/853745 本体組立内			
部品番号	部品名称	1台当たりの 使用数量	推奨交換時期	部品番号	部品名称	1台当たりの 使用数量	推奨交換時期
640000	Oリング	2	約5年	708615	スプリング	1	約10年
632553	平行ピン	1	約5年	770941	バルブ	1	約5年
714799	レバー	1	約5年	770942	パッキン	1	約5年
714800	スプリング	4	約10年	770946	パッキン	1	約5年
714804	軸	2	約5年	795057	バルブ	1	約5年
795042	バルブ	2	約5年				

注) なお、消耗品の推奨交換時期は、常温環境での目安であり保証値ではありません。
また、使用環境、使用条件、使用頻度によっても異なります。

5. 分解・組立

5.1 本体の分解と組立方法

圧力計の校正を行うときや、故障時の修理の際に参照してください。
なお、内部の詳細な分解については修理を依頼してください。

⚠ 注意



－ 本体の分解や組立を行うときは、必ず保護手袋をはめて作業してください。ストッパー部品などで、思わぬケガをする恐れがあります。



－ チューブを抜くときは、タンク内の圧力がゼロであることを確認してください。圧力が残ったままチューブを抜くと思わぬケガをする恐れがあります。

【本体とタンクの分離方法】

- 1) ドレンバルブを緩め、タンク内のエアを一旦抜いてください。（前頁 Fig.6）
- 2) 本体側面の左右の“ストッパー”をラジオペンチで矢印方向に引出してください。（Fig.7）

<NOTE>

・引抜ける範囲は、スライド規制ビスで動ける範囲です。（Fig.7）

- 3) 本体奥の“固定ビス”を＋ドライバーで外してください。（Fig.7）
- 4) 本体を上にし少し持ち上げ、タンクに繋がっているチューブを継手から抜けば分離できます。

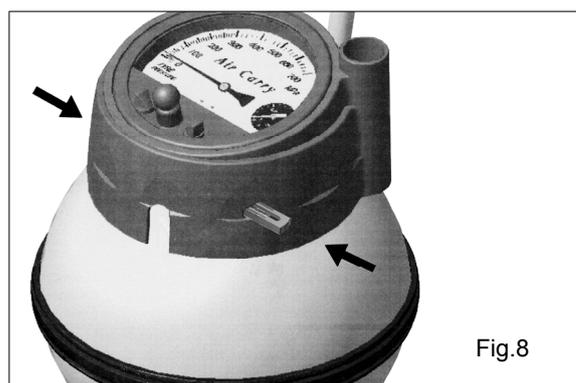
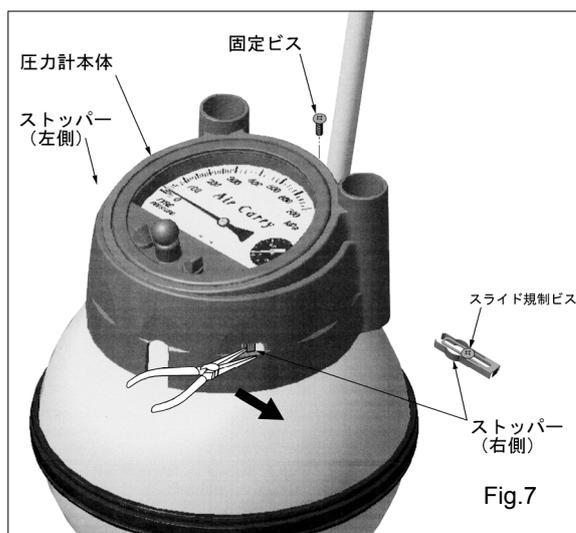
【組立方法】

- 1) 本体裏側の“バルブ本体”からのチューブを、タンク側の継手に差込んでください。
- 2) 本体の向きに注意してタンクに乗せます。（Fig.8）
- 3) 本体側面の2か所に“ストッパー”を差込みます。2個は平行にガイド穴を探りながら強く押込んでください。（Fig.8）

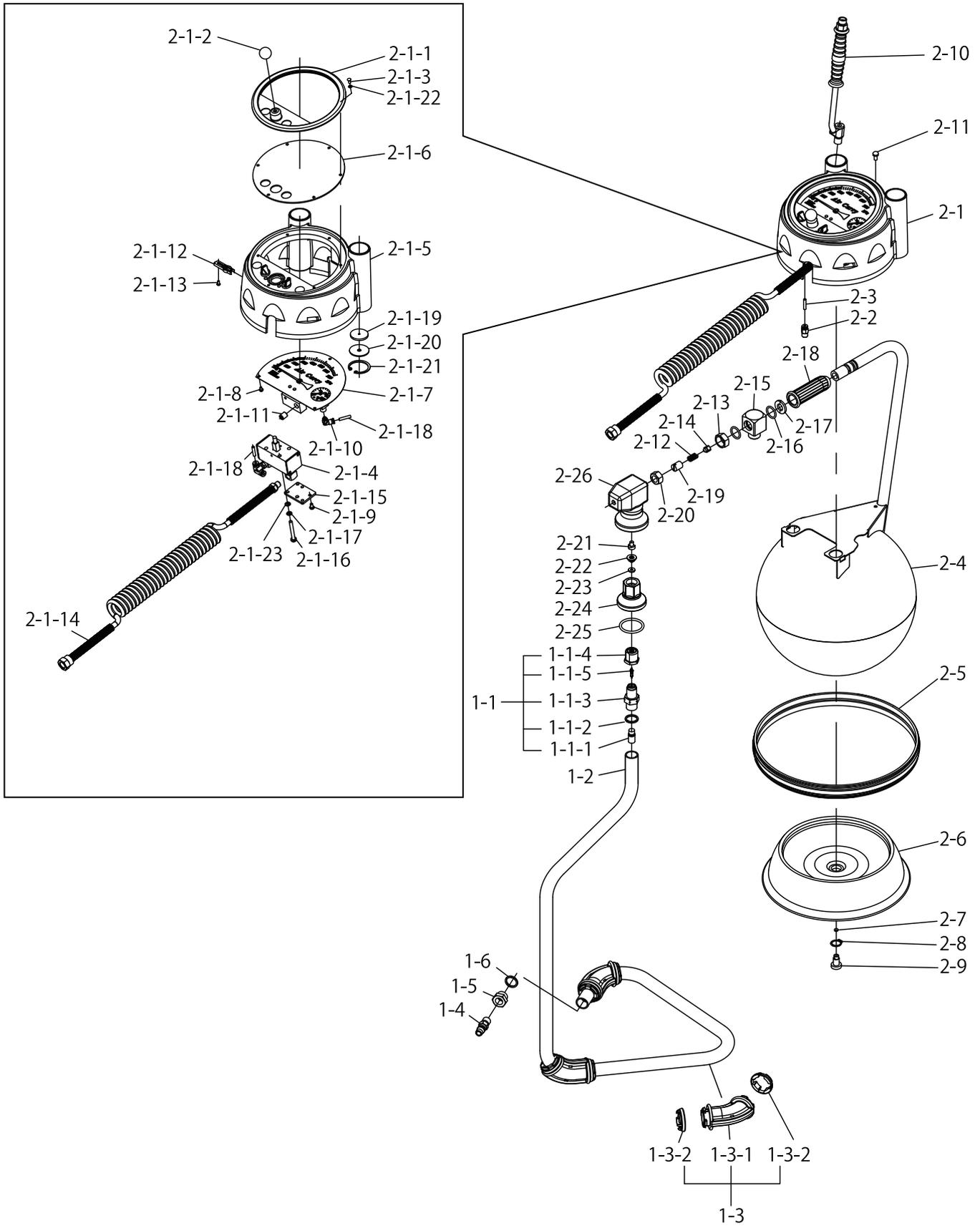
<NOTE>

・必ず、保護手袋をしてストッパーを押してください。
・入りにくいときは強引に押込まず、ストッパーに歪みがないか、スライド規制ビスを一旦外して確認してください。お互いのストッパーが水平、平行でないと入りません。

- 4) 本体奥の固定ビスを取付けます。（Fig.7）
- 5) ドレンバルブが閉まっているか確認し、本製品をスタンドに載せ、タンクに充気してください。このとき、内部のチューブ接続からエア漏れ音がしないか確認してください。



6. 部品分解図・パーツリスト (881021 ATC-99L/881022 ATC-150L)



スタンド組立

No.	部品番号		部品名称	員数
	853744 (ATC-99L)	853746 (ATC-150L)		
1-1	801805	←	供給バルブ組立	1
1-1-1	681170	←	サイレンサー	1
1-1-2	708584	←	座金	1
1-1-3	716729	←	ホルダー	1
1-1-4	708600	←	キャップ	1
1-1-5	686599	←	バルブコア	1
1-2	714879	714880	スタンド	1
1-3	802970	←	足組立	3
1-3-1	771690	←	足	1
1-3-2	771691	←	足止め輪	2
1-4	680743	←	口金	1
1-5	711897	←	ブッシュ	1
1-6	708584	←	座金	1

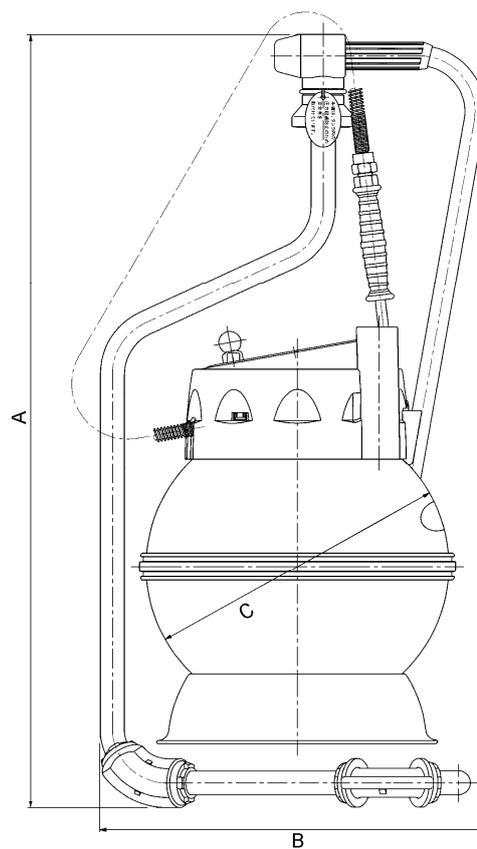
本体組立

No.	部品番号		部品名称	員数
	853743 (ATC-99L)	853745 (ATC-150L)		
2-1	804327	←	圧力計本体組立	1
2-1-1	772617	←	パネル用パッキン	1
2-1-2	685378	←	ボール	1
2-1-3	602703	←	皿小ネジ	6
2-1-4	804329	←	バルブ組立	1
2-1-5	714806	←	本体	1
2-1-6	772616	←	ウインドウ	1
2-1-7	804328	←	圧力計組立	1
2-1-8	682852	←	バネ座付ナベ小ネジ	3
2-1-9	682203	←	バネ座付ナベ小ネジ	5
2-1-10	685898	←	エルボフィッティング	1
2-1-11	771271	←	ブッシュ	1
2-1-12	714808	←	ストッパー	2
2-1-13	602234	←	ナベ小ネジ	2
2-1-14	695774	←	コイルホース	1
2-1-15	714807	←	プレート	1
2-1-16	602292	←	ナベ小ネジ	3
2-1-17	631417	←	バネ座金	3
2-1-18	570177	←	チューブ	1
2-1-19	771903	←	パッキン	2
2-1-20	714878	←	底板	2
2-1-21	630614	←	穴用C型止め輪	2
2-1-22	772638	←	シールパッキン	6
2-1-23	631011	←	平座金	2
2-2	685897	←	フィッティング	1
2-3	570177	←	チューブ	1
2-4	832622	832624	タンク組立	1
2-5	772633	772649	ガード	1
2-6	772212	←	受け座	1
2-7	770946	←	パッキン	1
2-8	630691	←	C型止め輪	1
2-9	708592	←	ドレンバルブ	1
2-10	683757	←	タイヤチャックノズル	1
2-11	683606	←	バネ座平座付ナベ小ネジ	1
2-12	708615	←	スプリング	1
2-13	708581	←	ナット	1
2-14	795057	←	バルブ	1
2-15	714805	←	ジョイント	1
2-16	640016	←	Oリング	2
2-17	710060	←	スペーサー	2
2-18	771278	←	握り	1
2-19	708586	←	調整ボルト	1
2-20	627327	←	ナット	1
2-21	770941	←	バルブ	1
2-22	708616	←	バルブシート	1
2-23	770942	←	パッキン	1
2-24	708617	←	ガイド	1
2-25	640034	←	Oリング	1
2-26	772618	←	カバー	1

7. 仕様

製品番号	881021	881022	
型式	ATC-99L	ATC-150L	
対象流体	空気・窒素ガス		
測定範囲	0~700kPa		
充填精度	±10kPa		
圧力計精度 等級	タイヤ圧 : JIS B7505-1 CL1.6		
	タンク圧 : JIS B7505-1 CL2.5		
最小目盛	20kPa		
タンク容量	9.9 L	15.0 L	
タンク圧力	最大990kPa *1		
質量 (kg)	本体	5.6	6.2
	スタンド	2.3	2.5
寸法 (mm)	A	698	759
	B	343	363
	C	Sφ270	Sφ309

*1 タンク最大圧力は、安全弁の作動圧力です。



8. 製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____	ご所属 _____																													
フリガナ ご住所 _____ _____	ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. ガソリンスタンド</td> <td style="width: 33%;">2. 自動車整備業</td> <td style="width: 33%;">3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報 は 当社の個人保護方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

9. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用されて生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号

ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>

E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所

仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202102.2528 AUT031U